

2018年7月30日

南海電気鉄道株式会社

スイス・レマン湖畔を 高野山ラッピング列車が疾走しています！



モントルー・オーベルラン・ベルノワ鉄道との
姉妹鉄道協定に関する**新たな**取組み



南海電気鉄道株式会社（本社：大阪市、社長：遠北 光彦、以下、南海電鉄）と、スイスのモントルー・オーベルラン・ベルノワ鉄道（本社：モントルー、CEO：ジョージ・オベルソン、以下、MOB）は、両社の友好関係を深め、双方の沿線が国際観光地として発展し、地域活性化に貢献することを目的として、「姉妹鉄道協定」を締結し、相互にPRを展開しています。

この一環として、スイス・モントルーのMOB沿線において、列車のラッピングや、駅への装飾など、南海電鉄や高野山をPRする各種施策を実施していきます。

また2018年8月8日（水）には、在スイス日本国大使館 領事らの立会いのもと、スイスのモントルー駅前において、姉妹鉄道協定の締結を記念するセレモニーを実施し、相互PRの機運を盛り上げます。

詳細は別紙のとおりです。



© Photo Maillard-MOB 2018

ゴールドパスラインを走行する高野山ラッピング列車

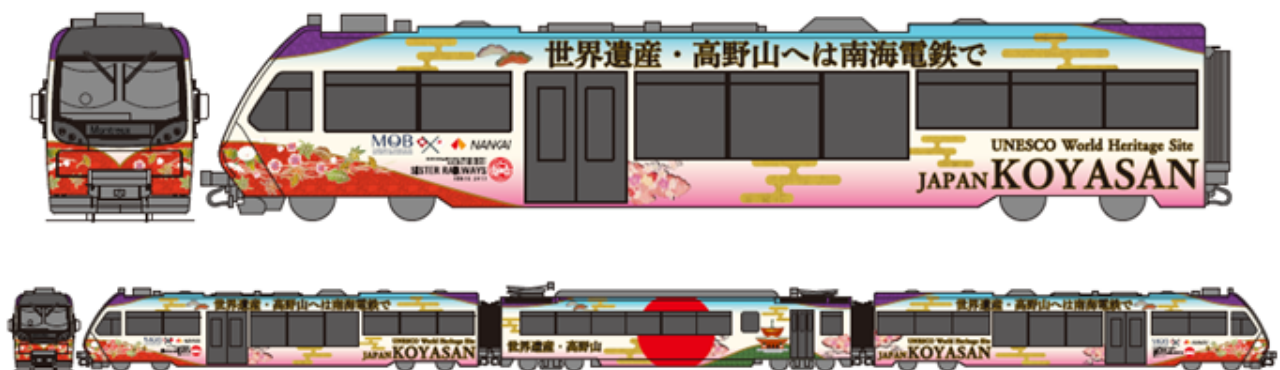


高野山ラッピング車両の側面デザイン

1. MOB車両ラッピング

MOBにおいて、高野山をイメージしたラッピング列車を運行しています。

- (1) 運行区間：モントルー ～ ツヴァイジンメン 駅間
- (2) 運行期間：2018年7月9日（月）～ 当分の間 ※終了時期未定
- (3) 列車種別：普通列車
- (4) 車両数：3両1編成



ラッピング車両デザイン

<ラッピング列車のデザインについて>

桜を使用するなど、全体的に和をモチーフとしたデザインとすることで、お客さまに一目で日本を想起していただける列車としています。

また、今回の姉妹鉄道協定は、両社が沿線に世界遺産を有しているという共通した特徴が、締結理由の一つとなっているため、南海電鉄沿線の世界遺産・高野山をイメージした「根本大塔」などをデザインに取り入れています。

当ラッピング列車が運行する観光路線「ゴールデンパスライン」には世界中から多くの観光客が訪れています。ラッピング列車運行による話題創出で、「ゴールデンパスライン」への誘客を図るとともに、世界に向けて世界遺産・高野山をPRし、日本国外から南海電鉄沿線への誘客を図ります。

2. 駅・車内での装飾

MOBなどが運行する人気の観光路線「ゴールデンパスライン」の起点であるモントルー駅の構内や列車内などで、姉妹鉄道協定をPRする装飾を8月8日（水）から行います。

デザインについては、記念セレモニー当日にお披露目します。

【期間】2018年8月8日（水）～当分の間 ※終了時期未定

3. 南海電鉄関係者のMOB訪問

スイスで開催される姉妹鉄道協定締結を記念したセレモニーに出席するため、南海電鉄関係者がスイスのMOBを訪問します。またこの訪問で、MOBの鉄道施設などを視察するとともに、相互プロモーションについて意見交換を行います。

(1) 訪問期間

2018年8月6日(月)～2018年8月9日(木)

(2) 記念セレモニーについて

ア、日時 2018年8月8日(水)

イ、場所 モントルー駅前広場(MOB本社前)

ウ、出席者 南海電鉄

取締役社長兼CEO

遠北 光彦

鉄道営業本部長

金森 哲朗

MOB

CEO

ジョージ・オベルソン

マーケティング担当役員

ハンス・ルーディ・ゲルバー

在スイス日本国大使館 在ジュネーブ領事事務所 領事

モントルー・ヴヴェイ市長

モントルー・ヴヴェイ観光局長

ヴォー州観光局長

ほか

エ、次第 ①MOB代表挨拶

②記念品交換

③来賓挨拶

④南海電鉄代表挨拶

⑤記念撮影

4. 現在実施中の相互PR施策

(1) MOBで実施中のPR施策

MOBが運行する特急車両を除く全車両に、姉妹鉄道協定をPRするシールを貼付しています。また、モントルー駅構内には、姉妹鉄道の協定書(レプリカ)や記念ヘッドマークなどを展示する「姉妹鉄道紹介コーナー」を設置しており、今後、対象駅を拡大していく予定です。



車両シール※特急車両を除く全列車に掲出中



モントルー駅の姉妹鉄道紹介コーナー

(2) 南海電鉄で実施中のPR施策

橋本～極楽橋駅間を運行する2300系車両に相互の沿線をPRするポスターを掲出するとともに、高野山駅2階にMOB展示コーナーを設置しています。また、高野山のお出かけウェブサイト「南海高野・ほっとねっと (<http://www.nankaikoya.jp/>)」や駅設置のパンフレット「世界遺産高野山」でMOBを紹介しています。



2300系に掲出中のフラッグ



高野山駅2階のMOB展示コーナー

<ご参考> 南海電鉄とMOBの「姉妹鉄道協定」について

南海電鉄と、スイスの鉄道会社MOBが、2017年10月24日（火）に大阪・難波にて締結しました。MOBはレマン湖畔のリゾート地・モントルーを拠点とするスイスの鉄道事業者であり、同社などがパノラマ特急車両や特別車両を用いて運行する「ゴールデンパスライン」は、その牧歌的な景勝ルートにより、特に高い人気を誇っています。

MOBは最急勾配73‰（パーミル）の区間を運行する山岳鉄道であり、最急勾配50‰の「こうや花鉄道（南海電鉄高野線 橋本～極楽橋駅間）」と同じ性格を有し、両社とも沿線に世界遺産を擁するなど、姉妹鉄道としてふさわしい特徴を備えています。

当協定は、共通した特徴を有する両社が友好関係を深め、双方の沿線が国際観光地として発展し地域活性化に貢献することを目的としています。

以上